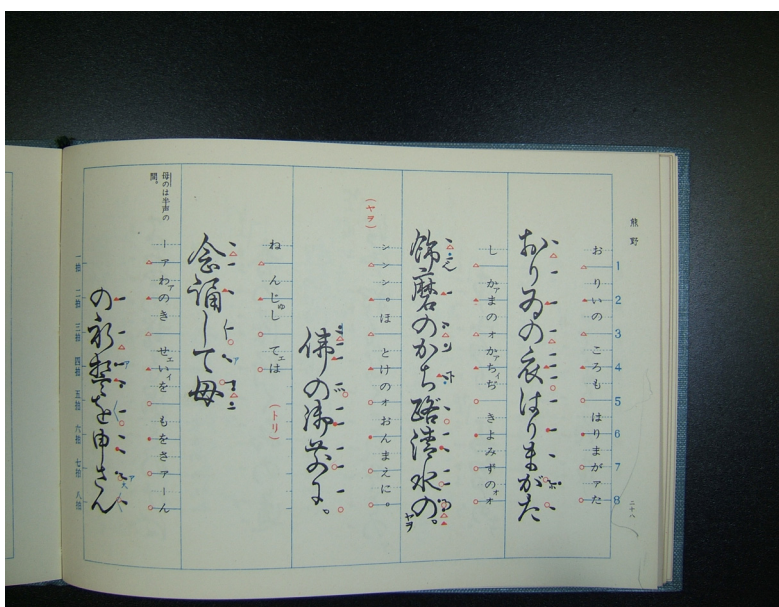
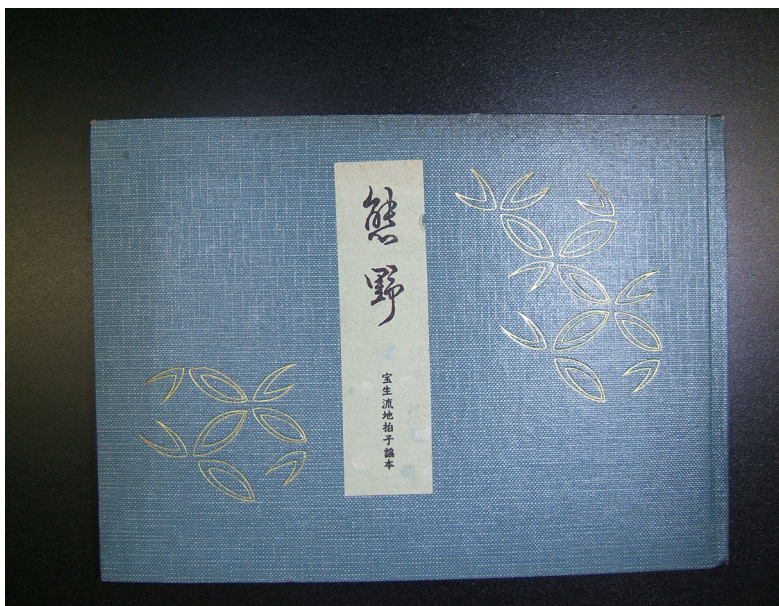


宝生九郎 『昭和三十二年四月わんや書店刊宝生流地拍子謡本「熊野」』

写真下は、ロンギの末の同音部分。節にそえられるゴマ点（・）には、黒で記されたものと、青で記されたものがある。黒で記されているのは、もともと謡本に印刷されているものである。青のゴマ点は、生み字が歌われるところに、合わせて、新たに補足したゴマ点である。二鎖目「飾磨のかち路清水の」の内、上の句に合計四カ所の生み字があるが、黒のゴマが二つ、青のゴマが二つである。半拍の単位をさらに区分する生み字が多いのが、宝生らしい。



標題 内題：—

標題紙：—

奥 附：宝生流地拍子謡本

その他：熊野 宝生流地拍子謡本（題簽）

著者 奥 附：宝生九郎

その他の場所：—

出版 版 次：第一版

出版地：東京

出版社：わんや書店

出版年：昭和32（1957）

その他の場所：—

形態 冊 数：一冊 頁 数：四三頁

寸 法：15×21（cm）

状態 写本版本の別：版本 現物複写の別：現物

備考